

令和7年度第3回 平塚市環境審議会 会議記録

日 時 令和8年1月27日（火）14時00分から14時40分まで

場 所 平塚市青少年会館 2階 集会室

出席者 北野会長、道満副会長、佐藤委員、田下委員、陶山委員、齋藤委員、永澤委員、杉山委員、三島委員

〈事務局〉環境部長、環境政策課長、環境政策担当長、資源循環担当長、担当者

傍聴者 0人

※ 欠席者 府川委員、小宮委員、加藤委員

1 開会

2 議題

議題（1）（仮称）次期平塚市環境基本計画（素案）のパブリックコメント結果の報告について

○会長

議題（1）「（仮称）次期平塚市環境基本計画（素案）のパブリックコメント結果の報告について」事務局から説明をお願いします。

◇事務局

「資料1 パブリックコメント等における意見対応表について」

「資料2 （仮称）次期平塚市環境基本計画 概要版（案）」

「資料3 （仮称）次期平塚市環境基本計画（案）」を説明

○会長

事務局からの説明について意見、質問があればお願いします。

○副会長

資料3の23ページにあるカーボンニュートラルのコラムについて、パブリックコメントの意見を踏まえてCCUを追記するという説明がありましたが、一般的にカーボンニュートラルとは、森林吸収量は含みますが、CCUを含むかどうか疑問に思ったため、環境省のホームページを確認したところ、排出を全体としてゼロにするということは、二酸化炭素を始めとする温室効果ガスの排出量から植林、森林管理などによる吸収量を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味していると書かれています。基本的に、CCUは化石燃料を前提としたシステムですので、CCUを入れることが市の計画として良いのかどうか検討した方がよろしいかと思えます。

◇事務局

このコラムは、カーボンニュートラルの考え方を分かりやすくするために、環境省の脱炭素ポータルホームページ等を参考にして記載したものです。CCSと同様にCCUについて

ても、脱炭素化に資する考え方の一つとして、今回のパブリックコメントの意見を踏まえて追記しました。

○副会長

この説明の仕方では、カーボンニュートラルの説明の中に、CO2 吸収量の考え方として CCU が記載されていると、化石燃料の使用を前提としたシステムを進めるという誤解を与えかねないので、それが良いのかどうか、よく考えた方が良いでしょう。もし、CCU を入れる場合には、コラムの外枠に別の文章として説明された方がよろしいかと思ひます。

◇事務局

いただいた意見を参考にしながら、どのように表現するか内容を精査させていただきたいと思ひます。

○副会長

CCU を入れるのは構いませんが、入れるのであれば、カーボンニュートラルの説明とセットにはしない方が良いでしょう。別の文章で、CCU とは何かについて、言及された方が良いでしょう。コラムの説明の中に入れてしまうと、カーボンニュートラルの前提条件と受け取られると思ひますので、違和感を持たれる方も結構いらっしゃると思ひます。

○会長

何か指摘があった際に、問題が起こらないようにした方が良いでしょう。一旦事務局にお預けするという形でよろしいでしょうか。

◇事務局

御意見を踏まえて、内容を精査させていただきます。

○委員

CCU については、CO2 を利用する考え方ですが、今回策定される市の計画の中にはなかったと思ひます。CCU の利用に関する調査や研究などをされていると思ひますが、今後、5 年後、10 年後、20 年後に向けて市の施策として考えられる内容があるのであれば、教えていただきたいと思ひます。

◇事務局

CCU や CCS については、まだ確立されていない技術であり、二酸化炭素を多く排出する工場などで開発を進めている段階ですので、現時点では、市が独自に取り組むような技術ではありません。

○委員

そういう意味では、正副会長に質問した方が良いでしょうのかもしれませんが、いろいろな研究が進んでいると思ひますが、素人が知らない部分で、研究が進んでいることはあるのでしょうか。

○副会長

技術屋ではないので何とも言えませんが、まだ実証段階ですので、実際にビジネスとして成り立つ段階ではありません。技術としてどのようになっていくかは、これからの話になると思います。可能性自体は載せても良いと思いますが、一辺倒になると施策として大丈夫なのかということに危惧しています。このことについては、いろいろな意見の方がいらっしゃるのでは、コンセンサスを得ると良いと思います。

議題（２）（仮称）次期平塚市環境基本計画答申書（案）について

○会長

議題（２）「（仮称）次期平塚市環境基本計画答申書（案）について」事務局から説明をお願いします。

◇事務局

「資料４ 平塚市環境審議会答申書（案）について」

「資料５ （仮称）次期平塚市環境基本計画の策定スケジュールについて」を説明

○会長

事務局からの説明について意見、質問があればお願いします。

○委員

答申の内容について、１番から５番まで書かれていますが、何をベースにしてどのように作成したのでしょうか。

◇事務局

今までの環境審議会でご覧いただいた意見を踏まえて、今後取り組んでいくべき内容を中心に作成しました。

○委員

市の基本の考え方に即した内容ではないのでしょうか。諮問書の内容の問いに対する答えのような形ではないですね。

◇事務局

諮問書は、もう少し大きく捉えた形で書かれています。答申書については、計画で掲げた５つの方針を中心に、審議会での皆様の意見を反映した形で作成しています。

○委員

プラスチックごみについても触れていますが、県のホームページに「かながわプラごみゼロ」という県の方針に基づいて、各市町村の状況について掲載されています。以前は、平塚市の取組も掲載されていましたが、平塚市はプラスチックごみの対策が遅れているという話を聞きました。かつては、平塚市では、お店に対してプラスチックごみを減らすことを促す取組をされていました。近隣の市町村では何らかの取組をされていますが、平塚

市の取組は掲載されていません。海に面している市であるのに取り組まれていないというのは、県内の他市町村に比べて問題かと思えます。県のホームページを見た時に、私たちの市も頑張っていると思っていただけると良いと思えます。

○会長

答申書の内容とは異なりますが、街のプラスチックごみに関する御意見ですが、いかがでしょうか。

◇事務局

本市では、プラスチックごみの取組として、プラクルとして分別収集しリサイクルしています。海岸ごみについては、美化財団と一緒に集める取組等を実施しています。また、マイバックの推進をしています。製品プラスチックのリサイクルについては、今後どのように取り組んでいくか研究をしているところです。

○委員

かつては、平塚市では、お店に対して買い物袋の提供を止めてくださいという啓発をしていました。そのことが、かつては県ホームページに掲載されていました。現在は、県ホームページに平塚市の取組が何も書かれていないことが、平塚の住民として恥ずかしいと思えました。

◇事務局

資源化協力店の取組のことだと思います。マイバックを持参された方には、お店のポイントを付けます、というような取組を実施していただいたお店には、資源化協力店として認証しますという実施しておりました。

○委員

実際には、全てのお店が取り組んでいるとは限りません。いらないと言っても、サービスのために袋に入れます。平塚市がお店の方に指導しても、お店の方はそれをきちんと受け取ってくださらないと感じますので、柔らかい指示では駄目だと思います。

◇事務局

マイバックの取組は、一定程度定着したため、資源化協力店という制度は終了しました。ただ、マイバックの取組は、今後も引き続き実施していくものであると思いますので、引き続き啓発に取り組んでいきます。

○会長

プラスチックごみの件は、引き続き実施していただくということですね。
他は、何かありますか。事務局から補足することはありますか。

◇事務局

答申書の最終案については、先ほど少し修正がありましたが、北野会長に審議会の代表

として一任していただき、内容をご確認していただいた上で、確定する形でよろしいでしょうか。

○会長

ただいま、事務局から提案がありましたが、いかがでしょうか。

(異議なし)

○委員

それで良いと思います。

◇事務局

それでは、そのような形で対応させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○会長

事務局から、今後のスケジュールについて、説明をお願いします。

◇事務局

「資料5」に基づき、今後のスケジュールを説明

○会長

事務局からの説明で、意見、質問はありますか。

(意見なし)

○会長

そのほか、意見、質問はありますか。

(意見なし)

○会長

意見がありませんので、議題は終了となります。「その他」について事務局から説明をお願いします。

3 その他

「3 その他」について説明

事務連絡を説明

4 閉会

以上